

第32回「議員と語りかい」報告書

4班 (No.1)

| | | | |
|-------------|--|------|--------------------|
| 開催日 | 令和元年11月14日(木) 午後7時 ~ 8時30分 | | |
| 開催場所 | 敷根公民館 | | |
| 団体名 | 敷根地区自治公民館 | 参加人員 | 10人 (男 9人:女 1人) |
| 出席議員 | 川窪 幸治、宮田 竜二、木野田 誠、新橋 実、植山 利博、前川原正人 | | |
| 役割分担 | 班 長 (新橋 実) 副班長 (川窪 幸治) 記録係 (宮田 竜二) | | |
| テーマ及び具体的な内容 | ・地域の抱える課題や行政、議会に対する様々な質問、要望について | | |

| | |
|-------------|---|
| | ◆は参加者の発言 ◇は議員の発言 |
| 意見交換での主な意見等 | <p>◆敷根清掃センターの建て替え工事について、市へ住民説明会の要望をお願いした。牧園、横川地区からのごみも敷根清掃センターへ持ち込まれると聞いている。ごみ収集車は困いがあるから良いが、一般車両は県道日当山敷根線と国道220号の2方向から清掃センターへ行く途中にごみを散乱させている現状もある。散乱したごみについては、道路沿いの住民が片付けしている。このままでは敷根住民としては、清掃センター建て替えには反対である。市はパトロールをしてほしい。</p> <p>また、敷根清掃センターへの車両も増加すると思われるので、現在も要望しているが、国道220号と県道との3差路に信号機を設置してほしい。地域活性化の一環としてコミュニティ広場をつくってほしい。</p> <p>◆敷根はごみ処分場、旧敷根小学校の廃校など、今まで市の言いなりになってきた。これからは敷根地区を優遇すべきだ。</p> <p>◇焼却場の建設は2025年を目途にして地質調査の業者までは決まったようである。牧園、横川地区のごみ処理も敷根清掃センターに集約する検討段階であり、正式には決まっていない。執行部は、もっと煮詰まってから説明したいようである。</p> <p>◆地質調査の業者は決まったと言われたが、その前に地域住民へは説明すべきである。</p> <p>◆市役所に行って説明会の要請をしたが、「説明できる段階になったら説明する」との返事であり現在待っている状態。</p> |

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇今の状態でも説明会が必要か。

◆煮詰まってからでもいいが、全てが決定した段階での相談ではダメ。

◇6年先の話であり、具体的な説明ができる材料が揃っていない。その時々に分かっている範囲内で説明し、地域の方々と一緒に計画を立てられるような進め方を執行部へ求める。

◆焼却場設置の前に、敷根地区は水害の不安がある。災害時には亀割峠に水が流れる。若尊の山は林道もない。以前、市が購入した広大な土地と民間の土地との境界等もはっきりしない。道路の設置を含め調査をしてほしい。

◇道路設置等の調査については、行政側へ申し入れる。信号については警察署に申し入れしている。

◆昨年、警察署に行って確認したところ、信号設置については県内で150番目と言われた。市から要請があれば優先順位があがる可能性があると言われた。

◇館長を入れて執行部との協議を行う。

◇現在の処分場建設時には、福山でも反対運動が起こった。ごみは1自治体、1処理施設で完結させることが法律できまっている。執行部も住民に寄り添って説明することが重要。

◆現在、敷根地区に道路の拡幅及び新設計画があるが、大雨に弱い場所もある。また、満潮と重なると冠水する。今回の拡幅及び新設する道路に排水路を入れて国道220号を横断し、錦江湾まででつなぐ整備をお願いしたい。

◇霧島市防災マップでは、敷根地区は地震、海底火山噴火時の津波で浸水の可能性となっている。大雨と満潮が重なり冠水するのであれば、防災マップの見直しが必要。

◆津波の話があったが、敷根の堤防を見てほしい。脆弱な堤防。県の港湾課が担当だが市から県へ要請してほしい。

◇雨水対策も含め、堤防も産業建設委員会で現地調査する。

◆敷根団地、検校橋団地も空き家が多い。浄化槽、奉仕活動の負担が大きい。奉仕作業に参加しない世帯から3,000円徴収している。浄化槽の管理費など、市が補助してもらえないか。

◇空き家分の管理費(浄化槽、電気代)は市が負担している。

◇防犯灯は、自治会負担なので、加入率が下がると住民の負担が大きくなるので市が負担してはどうかと提案しているが、実現までには至っていない。

意見交換での主な意見等

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆敷根保育園が廃止されると更に過疎化が進む。残してほしい。

◇廃止ではなく、民営化である。しかし、民営化して経営難になった場合、廃止される可能性もあるので、公立保育園として残すべきと考え、議案に反対した。

◇民営化されても保育園は無くならない。譲渡先は、東京を中心に溝辺にも保育園を展開している経営が安定した学校法人である。0歳児からの保育を計画しており、敷根のお母さん方が仕事をしやすくなるメリットがある。また、今の敷根保育園は老朽化が進んでいるが、民営化することで改築が進む。地域の皆さんにメリットがあると考えて賛成した。

◇民営化されても保育園、幼稚園が無くならないのは、国が少子化対策として力を入れているからである。

◆港から西側の堤防とテトラポットの間には砂が溜まって樹木が繁茂し、手に負えない。

浮遊ゴミが溜まっているが、住民では入り込めないので処理できない。防災の理由から、溜まった砂や樹木は除去してはいけないと意見する地元住民もいる。

◇防災、景観、多角的に現地調査を行う。

◆若尊公園が国立公園になったが、遊歩道の樹木、スロープ化など改善してほしい。

◇他の国立公園にも未整備箇所があり、手が付けられていないと思うので確認する。

◆検校橋から鮮ど市場までの県道部分の除草ができていない。

◇県に要請する。

意見交換での主な意見等